

# 編 修 趣 意 書

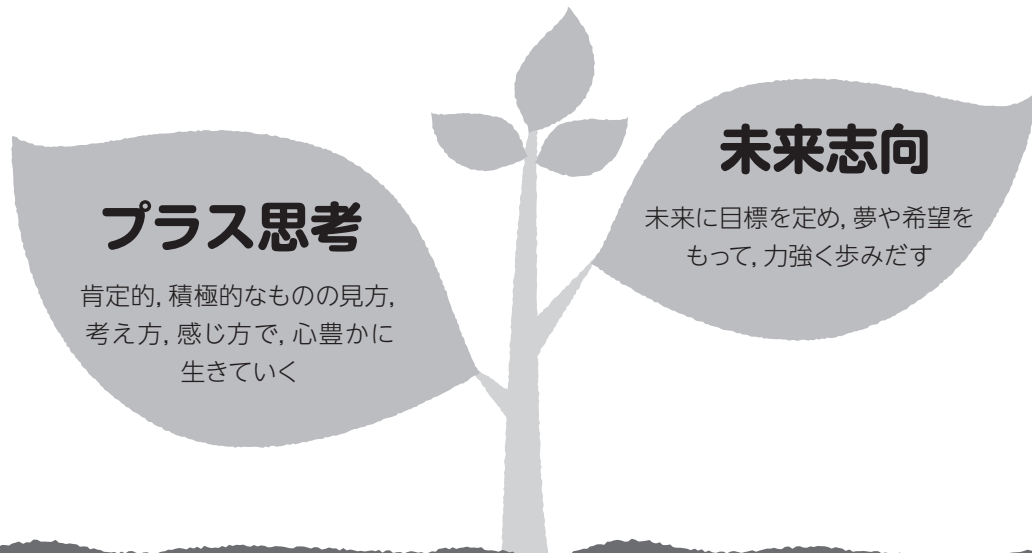
(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-18	中学校	道徳	道徳	第3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
224・学研	道徳・906	新・中学生の道徳 明日への扉 3		

## 1 編修の基本方針

自ら学び、自ら考え、よりよく生きる力を育むために

プラス思考と未来志向を備えた子供の育成を目指して  
子供たちの自ら伸びゆく力を支えます



読みたくなる・考えたくなる・話し合いたくなる教科書

## 編修の三本柱

### 1 主体的・対話的で 深い学びの実現



生徒が自ら主体的に課題を発見し, 考えを深め, 自己を見つめられる教科書

### 2 多面的・多角的に 考えられる



生徒の多様な考え方や感じ方を大切に, 質の高い学習指導過程の創造を可能にする教科書

### 3 発達や特性を考慮 した構成・配列



生徒の心身の成長の過程や, これからの発達の見通しをふまえている教科書



### 3 発達や特性を考慮した構成・配列

#### 重点テーマは「生命尊重」と「いじめ防止」

全学年で「生命尊重」を重点テーマとしています。自立した一人の人間として、他者と共によりよく生きていくために、多様な教材を用いて、深く考え、議論できるように工夫しています。



また、生命に関わる内容の教材に「いのち」のマークをつけ、生命について多面的に考えられるようにしています。

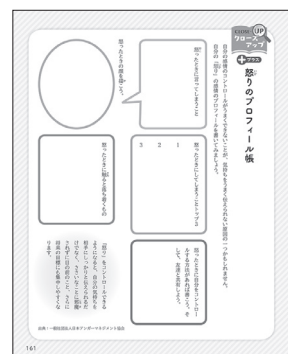
生命の尊さについて考えさせ、いじめの防止につながる教材です。

#### 【いじめ防止につながる教材】

教材名	内容項目
8 アップロード ダウンロード	遵法精神、公德心
11 笛	相互理解、寛容
22 どうして？	相互理解、寛容
25 卒業文集最後の二行	公正、公平、社会正義
27 雪が降ると思い出すことがある	よりよい学校生活、 集団生活の充実
31 五井先生と太郎	思いやり、感謝

■特設ページ【クローズアッププラス】で、「生命尊重」「いじめ防止」につながる3テーマを扱っています。

クローズアッププラスのテーマ	タイトル
メンタルトレーニング 具体的な実技を通して、心の動きに触れる	p.55 答えは一つだけじゃない
アンガーマネジメント 怒りの感情との向き合い方を考える	p.161 怒りのプロフィール帳
自己肯定感 自らを認め、他者も認め、互いに尊重しあう心を育む	p.41 あなたへ質問



p.161  
「クローズアッププラス」  
怒りのプロフィール帳

#### 生徒の学びやすさに配慮した工夫

4つの視点および主題ごとの教材を一覧で示すことで、道徳の学びへスムーズに導く

#### 【4つの視点のマーク】

- 主として自分自身に関すること
- 主として人との関わりに関すること
- 主として集団や社会との関わりに関すること
- 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること



社会に生きる一員として	自分を見つめ伸ばす	よりよく生きるための22の鍵
<ul style="list-style-type: none"> <li>1 社会生活のルールを学ぶ</li> <li>2 社会生活のルールを守る</li> <li>3 社会生活のルールを伝える</li> <li>4 社会生活のルールを改善する</li> <li>5 社会生活のルールを創造する</li> <li>6 社会生活のルールを評価する</li> <li>7 社会生活のルールを再評価する</li> <li>8 社会生活のルールを再創造する</li> <li>9 社会生活のルールを再評価する</li> <li>10 社会生活のルールを再創造する</li> <li>11 社会生活のルールを再評価する</li> <li>12 社会生活のルールを再創造する</li> <li>13 社会生活のルールを再評価する</li> <li>14 社会生活のルールを再創造する</li> <li>15 社会生活のルールを再評価する</li> <li>16 社会生活のルールを再創造する</li> <li>17 社会生活のルールを再評価する</li> <li>18 社会生活のルールを再創造する</li> <li>19 社会生活のルールを再評価する</li> <li>20 社会生活のルールを再創造する</li> <li>21 社会生活のルールを再評価する</li> <li>22 社会生活のルールを再創造する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自分自身を知る</li> <li>2 自分自身を認める</li> <li>3 自分自身を愛する</li> <li>4 自分自身を尊重する</li> <li>5 自分自身を表現する</li> <li>6 自分自身を成長させる</li> <li>7 自分自身を幸せにする</li> <li>8 自分自身を健康にする</li> <li>9 自分自身を豊かにする</li> <li>10 自分自身を誇りにする</li> <li>11 自分自身を誇りにする</li> <li>12 自分自身を誇りにする</li> <li>13 自分自身を誇りにする</li> <li>14 自分自身を誇りにする</li> <li>15 自分自身を誇りにする</li> <li>16 自分自身を誇りにする</li> <li>17 自分自身を誇りにする</li> <li>18 自分自身を誇りにする</li> <li>19 自分自身を誇りにする</li> <li>20 自分自身を誇りにする</li> <li>21 自分自身を誇りにする</li> <li>22 自分自身を誇りにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 社会生活のルールを学ぶ</li> <li>2 社会生活のルールを守る</li> <li>3 社会生活のルールを伝える</li> <li>4 社会生活のルールを改善する</li> <li>5 社会生活のルールを創造する</li> <li>6 社会生活のルールを評価する</li> <li>7 社会生活のルールを再評価する</li> <li>8 社会生活のルールを再創造する</li> <li>9 社会生活のルールを再評価する</li> <li>10 社会生活のルールを再創造する</li> <li>11 社会生活のルールを再評価する</li> <li>12 社会生活のルールを再創造する</li> <li>13 社会生活のルールを再評価する</li> <li>14 社会生活のルールを再創造する</li> <li>15 社会生活のルールを再評価する</li> <li>16 社会生活のルールを再創造する</li> <li>17 社会生活のルールを再評価する</li> <li>18 社会生活のルールを再創造する</li> <li>19 社会生活のルールを再評価する</li> <li>20 社会生活のルールを再創造する</li> <li>21 社会生活のルールを再評価する</li> <li>22 社会生活のルールを再創造する</li> </ul>

p6~7

#### 巻頭でテーマごとに教材を紹介

p.8  
さまざまなテーマで学ぼう

テーマ	教材
生命尊重	1 生命の尊さを知る
いじめ防止	2 いじめ防止のルールを知る
社会生活	3 社会生活のルールを知る
自分自身	4 自分自身を知る
人との関わり	5 人との関わりを知る
集団や社会	6 集団や社会を知る
生命や自然	7 生命や自然を知る
崇高なもの	8 崇高なものを知る

#### 学年ごとにテーマを設定し、系統性へ配慮

学年	テーマ	重点内容項目	教材
1 年	仲間と生きる	友情、信頼	5 あるピエロの物語 26 クラスメイト 30 吾一と京造
2 年	社会に生きる	社会参画、公共の精神	8 ヨコスカネイビーパーカー 23 未来から来たおじいさん
3 年	世界で生きる	国際理解、国際貢献	4 国際協力師 山本敏晴 24 もっとわかり合いたい 34 杉原千畝の選択

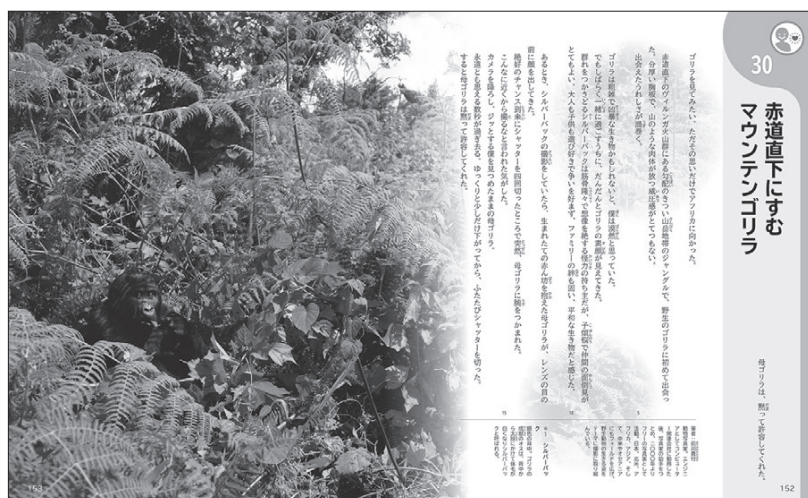


## 2 対照表

図書の構成・内容		該当箇所	特に意を用いた点や特色
	導入	表紙裏・p.1	写真と著名人の言葉を掲載し、明るく見通しをもって道徳の学習に入るようにした。(第1号)
	未来への扉を開く	p.2～3	道徳の授業がより有意義な時間となるよう、学び方を紹介した。(第1号)
	目次	p.4～5	教材ごとに視点を表すマークを示し、道徳授業での狙いに迫りやすくした。(第1号)
	よりよく生きるための22の鍵	p.6～7	道徳の学習の全体像をつかめるよう、視点及び内容項目ごとに教材をまとめて提示した。(第1号)
	さまざまなテーマで学ぼう	p.8	道徳心を培うために、重要なテーマごとに教材をまとめて提示した。(第1号)
	マイプロフィール	p.9	年度のはじめに自分について考える機会を提供し、道徳の学習を進めるなかでときどき振り返り、自己評価ができるページを設けた。(第1号)
1	三十点の金メダル	P.10～13	伊調馨選手の生き方を通して、自主及び自律の精神を養うことができるようにした。(第1号・第2号)
2	ありがとうの不思議な力	P.14～15	礼儀の意義を理解し、自他の敬愛を重んずる態度を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
3	独りを懐む	P.16～19	向田邦子さんの話から、望ましい生活習慣について考え、健やかな身体、自主及び自律の精神を養うことができるようにした。(第1号・第2号)
4	国際協力師 山本敏晴	P.20～25	国際社会の平和とその発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第1号・第4号・第5号)
5	余命ゼロ 命のメッセージ	P.26～29	渡部成俊さんの生き方を通して、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにした。(第1号・第4号)
6	正確な日本地図の追究 伊能忠敬	P.30～35	伊能忠敬の生き方から、真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうとすることについて考えることができるようにした。(第1号)
7	二人の弟子	P.36～41	真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにした。(第1号・第2号)
8	アップロード ダウンロード	P.42～45	情報モラルに関して、規律ある安定した社会の実現に努めることについて考えることができるようにした。(第1号・第3号)
9	思い出のオムライス	P.46～49	オムライスの話から、自律の精神を養うことができるようにした。(第1号・第2号)
10	私たちの夏	P.50～55	男女が好意を寄せながら互いに高め合う話を通して、異性についての理解を深め、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる心を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
11	笛	P.56～61	笛を巡って言い争う話から、自他の敬愛と協力を重んずる力を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
12	ねぶたを夢見て	P.62～67	ねぶた師の話を通して、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるようにした。(第1号・第2号・第5号)
13	電車の中で	P.68～71	電車やバスの中で起こりうる場面を提示し、協力を重んずる態度を養うことができるようにした。(第1号・第2号)
	地球と地域の未来のために	P.72～73	持続可能な社会の発展について多面的・多角的に考えられるよう、複数時間でも授業が構成できるよう、提案した。(第4号・第5号)
14	町工場から宇宙へ	P.74～77	宇宙開発をしている植松努さんの話から、創造性を培うことができるようにした。(第1号・第2号)
15	はるかなる生命の物語	P.78～83	田邊優貴子さんの活動から、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにした。(第1号・第4号)
16	一冊のノート	P.84～91	祖母と家族の物語に触れ、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
17	二人のエース	P.92～95	萩野公介選手と瀬戸大也選手の話から、人間関係を深めていくことについて考えることができるようにした。(第1号・第3号)
18	領民を愛した名君 上杉鷹山	P.96～101	上杉鷹山の生き方から、自主及び自律の精神及び責任を重んずる態度を養うことができるようにした。(第1号・第2号・第3号)
19	二通の手紙	P.102～107	受け取った二通の手紙を通して、正義と責任を重んじ、社会の形成に参画する態度を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
20	忘れられないご馳走	P.108～111	かけがえのない生命を尊重することについて考え、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにした。(第1号・第4号)
21	未来の日本ヘデビュー	P.112～115	正義と責任を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度を養うため、選挙を題材とし、よりよい社会の実現について考えられるようにした。(第1号・第3号)
22	どうして？	P.116～121	俳句大会での入選にまつわる話から、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自他の敬愛を重んずる態度を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
23	便利なスマホ 使い方次第で	P.122～125	スマートフォンで起こるトラブルの話から、自主及び自律の精神を養うことができるようにした。(第1号・第2号)
24	もっとわかり合いたい	P.126～129	国際協力に関する作文に触れ、海外で支援を行う大学生の姿から、人類の発展について考え国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第1号・第3号・第5号)
25	卒業文集最後の二行	P.130～133	いじめに関する筆者の深い後悔の念から、差別や偏見のない社会の実現に努めることについて考え、主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
26	白川郷に魅せられて	P.134～137	白川郷に触れ伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるようにした。(第1号・第5号)
27	雪が降ると思い出ことがある	P.138～141	集団生活の充実について考え、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
28	礼儀って何	P.142～145	時と場に応じた言動について考え、自他を敬愛する態度を養うことができるようにした。(第1号・第3号)
29	優介の決意	P.146～151	臓器移植に関する様々な立場の人の意見から、かけがえのない生命を尊重することについて考え、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにした。(第1号・第4号)
30	赤道直下にすむマウンテンゴリラ	P.152～155	マウンテンゴリラの生息数についての事例から、自然環境を大切にすることの意義を理解し、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うことができるようにした。(第1号・第4号)
31	五井先生と太郎	P.156～161	自他の敬愛を重んずる態度を養うために、温かい人間愛の精神を深めることについて考えられるようにした。(第1号・第2号)
	スポーツの世界で共に輝く	P.162～163	キャリアについて多面的・多角的に考えられるよう、複数時間でも授業が構成できるよう、提案した。(第1号・第2号)
32	スポーツの力	P.164～169	パラリンピアン谷真海選手の生き方から、健やかな身体を養い、その能力を伸ばすことができるようにした。(第1号・第2号)
33	「血の通った義足」を作りたい	P.170～173	義肢装具士の臼井二美男氏の話を通して、社会に貢献することを考えることができるようにした。(第1号・第2号・第3号)
34	杉原千畝の選択	P.174～179	杉原千畝の生き方から世界の平和と人類の発展に寄与することについて考えるようにした。(第1号・第5号)
35	亡き母へのトランペット	P.180～185	自らの弱さを克服する強さがあることを理解し、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにした。(第1号・第4号)
	心の四季	p.186	心に残ったことなどを折々に記入することで、道徳の学習についての振り返りができるようにした。(第1号)
	未来への扉	p.187	道徳の学習を生かして将来の生き方を考えることができるようにした。(第1号)
	学びの記録		学習を進めるなかで学期ごとに振り返り、自分の成長を確認できるページを設けた。(第1号)

### 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### 大きな判型 (AB判) を採用



AB判サイズで視覚的にゆったりとした紙面となっています。ダイナミックな写真や大きなスペースを利用した挿し絵、資料等を用いて、生徒の学びたくなる気持ちを引き出します。

30 赤道直下にすむマウンテンゴリラ  
(見開きに大きく配置した写真から情景を感じ取ることができ、より深い思考のための手がかりとなります。)

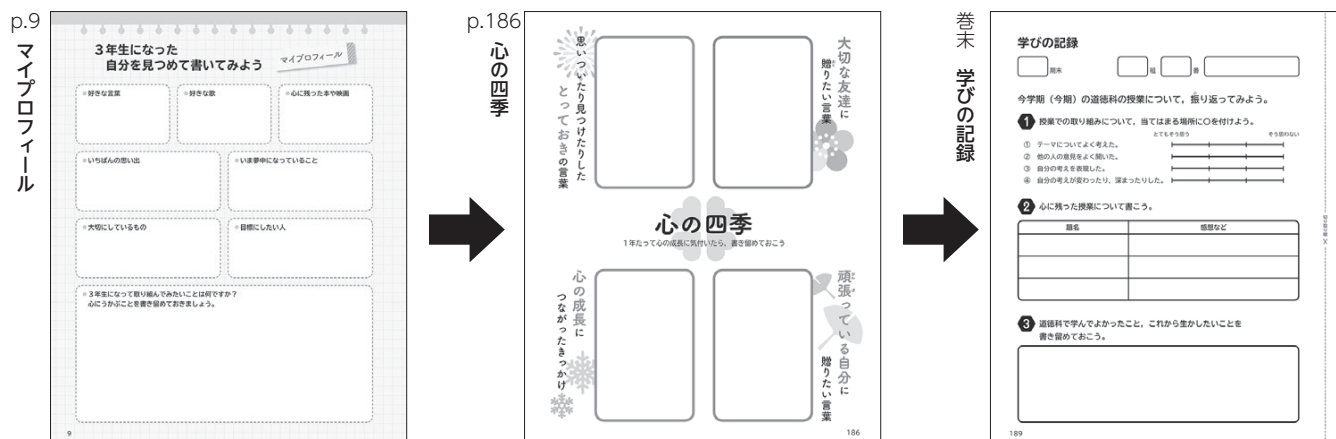
#### 生徒の心に優しく届けるユニバーサルデザイン

##### ●教科書の読みやすさ・扱いやすさ、環境・安全への配慮

読みやすさ 扱いやすさ	視覚情報を利用しやすいAB判を採用しています
	生徒が抵抗なく学習に取り組める紙面構成です
	全ての教材が見開きから始まり、教材に集中して取り組むことができます
	理解しやすい表現、読みやすさに配慮しています
	中学校に配当されている漢字および常用漢字外の漢字にふりがなをつけています
	イラスト、写真は内容、掲載点数ともに学習上の効果に十分配慮しています
	ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを採用しています
環境・安全への配慮	環境に配慮して作られた紙、植物油インキを使用し、環境に配慮しています
	製本には、リサイクル性の高いPURのりを使用しています

#### 学びを通じて生徒が自らの成長に気付くための工夫

巻頭に自分を見つめる「マイプロフィール」、巻末に心の成長を振り返る「心の四季」「未来への扉」、各学期の振り返りができる「学びの記録」を配置しました。1冊全体で1年間の自分の成長を感じて主体性や自尊感情を高めるとともに、これからの生き方を考えることができる構成となっています。



# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-18	中学校	道徳	道徳	第3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
224・学研	道徳・906	新・中学生の道徳 明日への扉 3		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

読みたくなる・考えたくなる・話し合いたくなる教科書

### 1 主体的に課題を発見し, 考えを深め, 自己を見つめる

#### 4つの視点

4つの視点のうち, 教材が該当するものをマークで示しています。



主として自分自身に関すること



主として人との関わりに関すること



主として集団や社会との関わりに関すること



主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

#### 異なる複数意見

異なる複数意見を掲示して, 多様な意見に触れながら, 自分の考えを深めます。

#### 深めよう



教材を基に自分の考えを深め, 広げる「道徳の学び」を提案しています。

#### 書き込み欄

グラフに記入するなどして, 意見を整理します。

#### 考えよう



教材を基に, これからの生き方について考えるきっかけとなる質問を示しています。

#### 主題名の扱いに配慮

教材の前に主題名を示さないことで, 特定の価値観を押しつけず, 生徒自らの気づきや考えを促します。

#### キーフレーズ

生徒が教材に興味を寄せられるように, キーフレーズを入れています。

#### メモ欄

メモ欄には, 思いや気づきを自由に記入できます。

#### 28 礼儀って何

■内容項目: 礼儀

■主 題 名: 場に応じた礼儀

p.29など, 自分の考えを記入する書き込み欄を設けています。



## 2 「考え、議論する」授業を多様にサポート

### 物事を多面的・多角的に考える

「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」というテーマでそれぞれ2教材を連続して掲載するなど、多面的・多角的に学びを深められるようにしています。

#### 「地球と地域の未来のために」の2教材

社会と持続可能な発展について、広い視野をもって学ぶことができる



p.72  
p.73  
トビラのページ



15  
はるかなる生命の物語

自然への畏敬の  
念の観点から

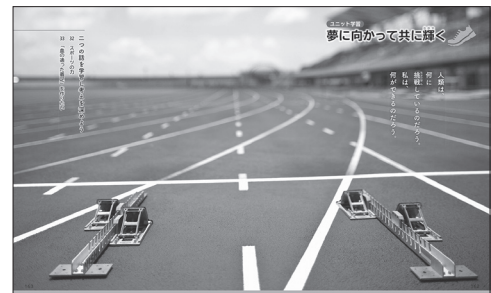


14  
町工場から宇宙へ

宇宙開発の観点から

#### 「夢に向かって共に輝く」の2教材

異なる立場で活躍する人々の生き方を学び、キャリア教育としても活用できる



p.162  
p.163  
トビラのページ



33  
「血の通った義足」を作りたい

支える側として



32  
スポーツの力

選手として

## ユニット学習

### 重点テーマは「生命尊重」と「いじめ防止」

「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマとしています。自らの命および自らの命に関わる他者の命、それらを支えるさまざまな命の尊さについて思いを寄せることができると同時に、自立した一人の人間として、他者と共によりよく生きていくために、深く考え、議論できるように工夫しています。

#### いじめ防止につながる教材

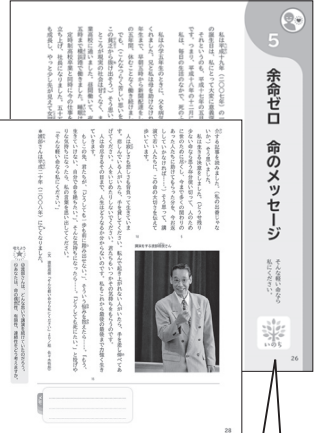
いじめ防止につながる教材	さまざまなテーマで学ぼう
<p>いじめをなくすために</p> <p>31 156 138 129 116 56 42</p> <p>8 アンチローラー</p> <p>11 11</p> <p>12 12</p> <p>13 13</p> <p>14 14</p> <p>15 15</p> <p>16 16</p> <p>17 17</p> <p>18 18</p> <p>19 19</p> <p>20 20</p> <p>21 21</p> <p>22 22</p> <p>23 23</p> <p>24 24</p> <p>25 25</p> <p>26 26</p> <p>27 27</p> <p>28 28</p> <p>29 29</p> <p>30 30</p> <p>31 31</p> <p>32 32</p> <p>33 33</p> <p>34 34</p> <p>35 35</p> <p>36 36</p> <p>37 37</p> <p>38 38</p> <p>39 39</p> <p>40 40</p> <p>41 41</p> <p>42 42</p> <p>43 43</p> <p>44 44</p> <p>45 45</p> <p>46 46</p> <p>47 47</p> <p>48 48</p> <p>49 49</p> <p>50 50</p> <p>51 51</p> <p>52 52</p> <p>53 53</p> <p>54 54</p> <p>55 55</p> <p>56 56</p> <p>57 57</p> <p>58 58</p> <p>59 59</p> <p>60 60</p> <p>61 61</p> <p>62 62</p> <p>63 63</p> <p>64 64</p> <p>65 65</p> <p>66 66</p> <p>67 67</p> <p>68 68</p> <p>69 69</p> <p>70 70</p> <p>71 71</p> <p>72 72</p> <p>73 73</p> <p>74 74</p> <p>75 75</p> <p>76 76</p> <p>77 77</p> <p>78 78</p> <p>79 79</p> <p>80 80</p> <p>81 81</p> <p>82 82</p> <p>83 83</p> <p>84 84</p> <p>85 85</p> <p>86 86</p> <p>87 87</p> <p>88 88</p> <p>89 89</p> <p>90 90</p> <p>91 91</p> <p>92 92</p> <p>93 93</p> <p>94 94</p> <p>95 95</p> <p>96 96</p> <p>97 97</p> <p>98 98</p> <p>99 99</p> <p>100 100</p>	<p>さまざまなテーマで学ぼう</p> <p>1. 生命の尊重</p> <p>2. いじめ防止</p> <p>3. 環境問題</p> <p>4. 社会問題</p> <p>5. 職業教育</p> <p>6. スポーツ</p> <p>7. 芸術</p> <p>8. 科学</p> <p>9. 歴史</p> <p>10. 地理</p> <p>11. 外国語</p> <p>12. 情報</p> <p>13. 音楽</p> <p>14. 美術</p> <p>15. 体育</p> <p>16. 労働</p> <p>17. 経済</p> <p>18. 政治</p> <p>19. 法律</p> <p>20. 倫理</p> <p>21. 道徳</p> <p>22. 宗教</p> <p>23. 文化</p> <p>24. 生活</p> <p>25. 健康</p> <p>26. 安全</p> <p>27. 防災</p> <p>28. 防災</p> <p>29. 防災</p> <p>30. 防災</p> <p>31. 防災</p> <p>32. 防災</p> <p>33. 防災</p> <p>34. 防災</p> <p>35. 防災</p> <p>36. 防災</p> <p>37. 防災</p> <p>38. 防災</p> <p>39. 防災</p> <p>40. 防災</p> <p>41. 防災</p> <p>42. 防災</p> <p>43. 防災</p> <p>44. 防災</p> <p>45. 防災</p> <p>46. 防災</p> <p>47. 防災</p> <p>48. 防災</p> <p>49. 防災</p> <p>50. 防災</p> <p>51. 防災</p> <p>52. 防災</p> <p>53. 防災</p> <p>54. 防災</p> <p>55. 防災</p> <p>56. 防災</p> <p>57. 防災</p> <p>58. 防災</p> <p>59. 防災</p> <p>60. 防災</p> <p>61. 防災</p> <p>62. 防災</p> <p>63. 防災</p> <p>64. 防災</p> <p>65. 防災</p> <p>66. 防災</p> <p>67. 防災</p> <p>68. 防災</p> <p>69. 防災</p> <p>70. 防災</p> <p>71. 防災</p> <p>72. 防災</p> <p>73. 防災</p> <p>74. 防災</p> <p>75. 防災</p> <p>76. 防災</p> <p>77. 防災</p> <p>78. 防災</p> <p>79. 防災</p> <p>80. 防災</p> <p>81. 防災</p> <p>82. 防災</p> <p>83. 防災</p> <p>84. 防災</p> <p>85. 防災</p> <p>86. 防災</p> <p>87. 防災</p> <p>88. 防災</p> <p>89. 防災</p> <p>90. 防災</p> <p>91. 防災</p> <p>92. 防災</p> <p>93. 防災</p> <p>94. 防災</p> <p>95. 防災</p> <p>96. 防災</p> <p>97. 防災</p> <p>98. 防災</p> <p>99. 防災</p> <p>100. 防災</p>

生命の尊重につながる教材  
「生命の尊重」は各学年3点用意しています。  
余命ゼロ 命のメッセージ  
忘れられないご馳走  
優介の決意

p.8  
さまざまなテーマで学ぼう

#### 5 余命ゼロ 命のメッセージ

■内容項目：生命の尊さ  
■主 題 名：支え合う命



生命に関わる内容の教材に「いのち」のマークをつけ、多面的に生命について考えられるようにしています。

■特設ページ「クローズアッププラス」で、「生命尊重」「いじめ防止」につながる3テーマ【メンタルトレーニング】【アンガーマネジメント】【自己肯定感】を取り入れています。

# 3 中学生の「よりよく生きたい」という願いに応える教科書

## 今を生きる人・先人たちの生き方から学ぶ

さまざまな分野で活躍している人や、後世に名を残した偉人の生き方に触れる教材を多数用意して、自らの生き方を見つけ、よりよく生きるための意欲を促します。

### 今を生きる人たちから学ぶ



17 二人のエース

### 先人たちの生き方から学ぶ



18 領民を愛した名君 上杉鷹山

### 教材で取り上げた“今を生きる人たち”（敬称略）

伊調馨（レスリング選手）、山本敏晴（医師、国際協力師）、北村麻子（ねぶた師）、植松努（実業家）、田邊優貴子（生態学者）、瀬戸大也、萩野公介（競泳選手）、谷真海（パラリンピック陸上競技選手）、臼井二三男（義肢装具士）など

### 教材で取り上げた“先人たち”（敬称略）

向田邦子（脚本家・エッセイスト・小説家）、伊能忠敬（学者）、荻野吟子（医師）、上杉鷹山（米沢藩主）、ブルーノ・タウト（ドイツ人建築家）、杉原千畝（外交官）など

## 心に響くメッセージやビジュアルで心を動かす

紙面全体に広がるダイナミックな写真や、生徒が興味を引き出しやすい漫画などを用いて生徒の心を動かします。



29 優介の決意



30 赤道直下にすむ  
マウンテンゴリラ



7 二人の弟子

30 赤道直下にすむ  
マウンテンゴリラ

### 豊富な補助教材



デジタルコンテンツとして、QRコードを使ってインターネット上の補助教材にアクセスできます。教材に関連する写真などにより学びを深め、広げられます。

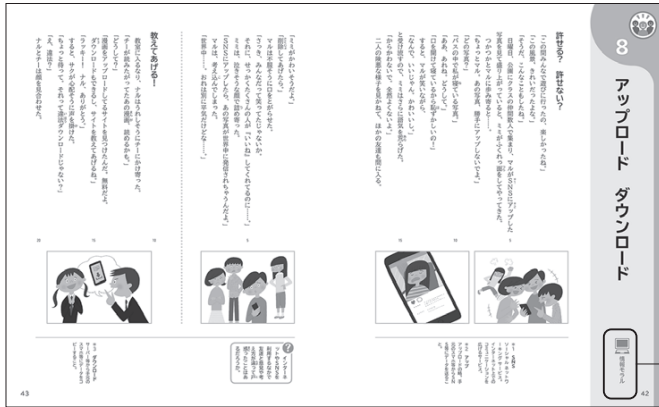


# 4 現代的な課題に積極的に対応

## [情報モラル]への取り組み

情報社会でよりよく生きるための基になる考え方や態度の育成に重点を置き、[情報モラル]は中学校3学年を通して系統的に学べるように配慮しました。各学年で発達段階に合わせてテーマを設定しています。

### 各学年の情報モラルの教材



1年17 日曜日の朝に  
テーマ：生活習慣（スマホ依存）

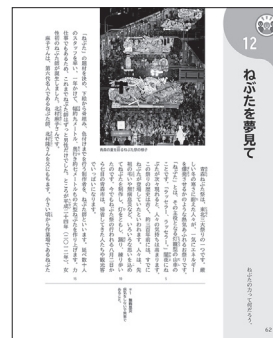


## 現代的な課題への積極的な対応

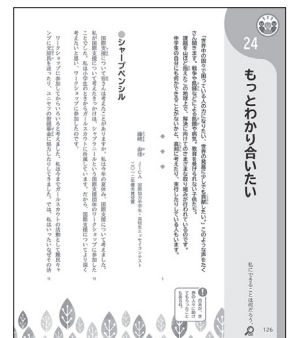
情報モラルのほかに、現代的な課題に積極的に対応しています。各教材は、生徒が身近な問題を自分と結びつけて考えることができる展開にしています。

情報モラル	食育	健康教育
消費者教育	防災教育	福祉に関する教育
法教育	社会参画に関する教育	伝統文化教育
国際理解教育	キャリア教育	
社会の持続可能な発展（ESD）		

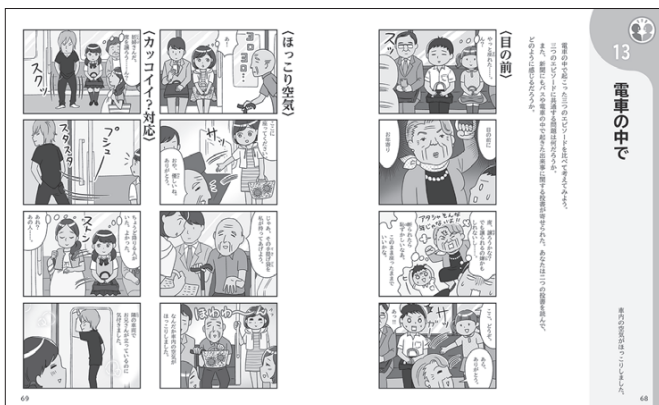
### ■伝統文化教育



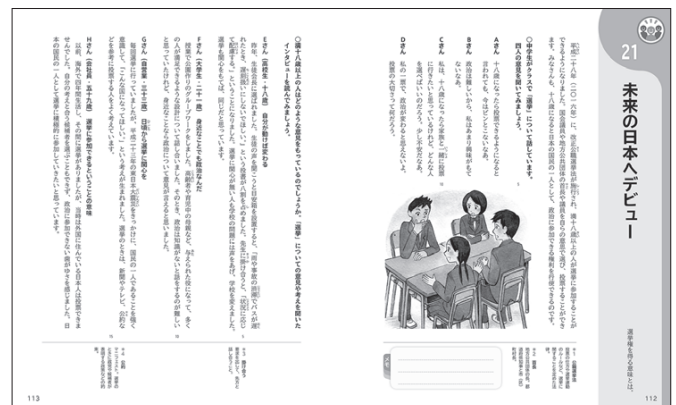
### ■国際理解教育



### ■福祉に関する教育







### ■社会参画に関する教育



13 電車の中で

21 未来の日本ヘデビュー

## 2 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所	配当時数		
教材名		<b>A</b> 主として 自分自身に 関すること 	<b>B</b> 主として 人との関わり に関すること 	<b>C</b> 主として 集団や社会との 関わりに 関すること 	<b>D</b> 主として 生命や自然、 崇高なものとの 関わりに 関すること 	ページ	配当時間	配当学期 (2学期制)	配当学期 (3学期制)
1	三十点の金メダル	向上心、個性の伸長				10～13	1	1学期 (前期) : 17時間	1学期 : 12時間
2	ありがとうの不思議な力		思いやり、感謝			14～15	1		
3	独りを慎む	節度、節制				16～19	1		
4	国際協力師 山本敏晴			国際理解、国際貢献		20～25	1		
5	余命ゼロ 命のメッセージ				生命の尊さ	26～29	1		
6	正確な日本地図の追究 伊能忠敬	真理の探究、創造				30～35	1		
7	二人の弟子				よりよく生きる喜び	36～41	1		
8	アップロード ダウンロード			遵法精神、公德心		42～45	1		
9	思い出のオムライス	自主、自律、自由と責任				46～49	1		
10	私たちの夏		友情、信頼			50～55	1		
11	笛		相互理解、寛容			56～61	1		
12	ねぶたを夢見て			郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		62～67	1		
13	電車の中で		思いやり、感謝			68～71	1	2学期 (後期) : 18時間	2学期 : 15時間
14	町工場から宇宙へ	真理の探究、創造				74～77	1		
15	はるかなる生命の物語				感動、畏敬の念	78～83	1		
16	一冊のノート			家族愛、家庭生活の充実		84～91	1		
17	二人のエース		友情、信頼			92～95	1		
18	領民を愛した名君 上杉鷹山	自主、自律、自由と責任				96～101	1		
19	二通の手紙			遵法精神、公德心		102～107	1		
20	忘れられないご馳走				生命の尊さ	108～111	1		
21	未来の日本へデビュー			社会参画、公共の精神		112～115	1		
22	どうして？		相互理解、寛容			116～121	1		
23	便利なスマホ 使い方次第で	節度、節制				122～125	1		
24	もっとわかり合いたい			国際理解、国際貢献		126～129	1		
25	卒業文集最後の二行			公正、公平、社会正義		130～133	1		
26	白川郷に魅せられて			我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度		134～137	1		
27	雪が降ると思い出すことがある			よりよい学校生活、集団生活の充実		138～141	1		
28	礼儀って何		礼儀			142～145	1	3学期 : 8時間	
29	優介の決意				生命の尊さ	146～151	1		
30	赤道直下にすむマウンテンゴリラ				自然愛護	152～155	1		
31	五井先生と太郎		思いやり、感謝			156～161	1		
32	スポーツの力	希望と勇気、克己と強い意志				164～169	1		
33	「血の通った義足」を作りたい			勤労		170～173	1		
34	杉原千畝の選択			国際理解、国際貢献		174～179	1		
35	亡き母へのトランペット				よりよく生きる喜び	180～185	1		
計							35	35	35